

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

2000

4

月号【1日発行】



いまを話す **最終回**

世界的チェンバリスト、曾根麻矢子 さん
世界的ヴァイオリニスト、木野雅之 さん
木野さん せつなく透明な響き ロンドン
曾根さん **ひたむきで謙虚な国際人**
華やかで個性的な音バリ

■ほんね対談 いまを話す 3

世界的チェンバリスト 曾根麻矢子 さん

世界的ヴァイオリニスト 木野 雅之 さん

木野さん せつなく透明な響き ロンドン

ひたむきで謙虚な国際人

曾根さん 華やかで個性的な音 パリ

●「あそびの寺子屋」参加者募集 9

●学習・文化情報／会員募集 10

●生涯学習プラザ休館のお知らせ 15

●南生田小学校で英語の公開授業 裏表紙

◇表紙写真……長尾の里の桜 乙黒 勝 さん

(とどろきフォトサークル)

小誌は再生紙を使用しています

<お知らせ> 「Stage Up」は5月号からA4判・横組み・8ページにリニューアルします。教育・スポーツ・趣味のコーナーなどの記事を追加し、内容をさらに充実する予定です。引き続きご愛読ください。(担当者一同)

資格取得支援講座の受講者募集

社会保険労務士答案練習講座

- 日 時——5月13日～7月15日の土曜13時～16時半と、
7月30日・8月6日の日曜9時半～16時半、全9回
- 受講料——20,000円 ●教材費——5,500円
- 定 員——50人(抽選) ●申し込み期間——4月11日(火)～14日(金)

TOEIC(初級・中級)

- 日 時——5月13日～10月7日の毎週土曜
初級…10時半～12時半／中級…13時半～15時半、各全15回
- 受講料——各20,000円 ●教材費——初級・10,000円／中級・9,000円
- 定 員——各25人(抽選) ●申し込み期間——4月18日(火)～21日(金)

■会場 生涯学習振興事業団新百合分室

(小田急線新百合ヶ丘駅下車 徒歩2分)

■申し込み・問い合わせは10時～16時に ☎(952)5000の当事業団



いまを話す

世界的ヴァイオリニスト
木野 雅之さん
世界的チェンバリスト
曾根麻矢子さん

ゲスト

Vol.83



せつないほどの透きとおった響きのいい音のヴァイオリンで、ロンドンを拠点に活躍する木野雅之さんは、日本フィルのコンサートマスターでもある。一方の曾根麻矢子さんは、古楽器・チェンバロによる華やかで個性の強い演奏がパリっ子の心をとらえ、日本のクラシック・ファン層を大きく広げた。二人は高校の先輩後輩。曾根さんが「すごい人とお話できて」と率直に喜びを口にすれば「どういう意味」と木野さんがおどける。笑顔が絶えない世界的演奏家同士の対談。「僕らは成長過程。これから期待して」(木野さん)「最近、自分の表現ができるように」(曾根さん)と謙虚。足跡は異なるが自立心の強さ、明確な自己主張を持つは共通。「優秀な奏者ばかりのオーケストラは成功しない」は、日本の「幸せストーリー」崩壊の原因に通じる。司会は、音楽コーディネーターの河合由里子さん。

木野さん せつなく透明な響き ロンドン

ひたむきで謙虚な国際人

曾根さん 華やかで個性的な音 パリ

——お二人は、桐朋学園付属高校(音楽科)の先輩後輩の関係ですが、曾根さんご存知でしたか。

曾根さん ええ。当時から木野さんは有名でしたから。でも、直接お会いするのは初めてです。こんなすごい方とお話できて(うれしそうに)。

木野さん えっ、どういう意味。

——木野さんは、川崎とのかかわりが多いですね。

木野さん 宮前区の「ロビーコンサート」ですとか、若者の「かわさきフレッシュアンサンブル」の指導、麻生フィルと演奏会をしたこともあります。

——川崎の印象はどうですか。

木野さん 川崎は、各地域で音

楽会が盛んですし、地域の人たちのバックアップもよく、文化をとでも大切にしている感じがします。

——曾根さんは多摩区にご実家がおありですね。先日の演奏会でバッハの「ゴルトベルク変奏曲」を聴きました。曾根さんならではのフレッシュな演奏でした。

曾根さん ゴルトベルク変奏曲は、十年近く弾いている曲で演奏は一時間以上ですが、弾くたびに新しい発見があり、それを自分で確かめられる曲です。最近ようやく自分の表現が、でき始めてきたという感じがします。

木野さん いいねえ(身を乗り出して)。僕たちはまだ若いですが「これから」に期待してほしいな。日本では、若いうちにデビューすると四十歳でベテランと言われて。演奏家としてはまだまだ成長過程ですよ。

——今年はバッハ没後二百五十年ですが、曾根さんにとって、バッハとは……。

曾根さん チェンバロを弾くきっかけがバッハの曲でしたから、とても大切な存在です。

——木野さん、昨年十二月のカザルスホール(東京・千代田区)



木野 雅之 さん

きの・まさゆき=1963年、東京生まれ。85年、ギルドホール音楽院(ロンドン)卒。日比野愛次、篠崎功子、西川重三、ニーマン、ミルシュタイン、リッチ、ギトリスの各氏に師事。「全日本学生音コン中学の部」「リピツァー」「フレッシュ」「メニューイン」「リッチ」「パームビーチ」の各コンクールで優勝。84年から本格的な演奏活動を開始、特に協奏曲のレパートリーは40曲におよぶ。これまでにロイヤル・フィル、ベルリン響、ポーランド国立放送響、グレート・パームビーチ響、エネスコ管、モスクワ放送響、ルービンシュタイン・フィル、日本フィルなど、多数のオーケストラと共演。93年4月から、日本フィルコンサートマスター。現在、ロンドンを本拠地に世界で活躍。最新CDは「エクスタシー」。

でのリサイタルを聴かせていただき、なじみのない難しい曲も、聴衆を飽きさせることなく、ぐいぐいと引っ張っていかれましたね。

木野さん 日本では、ポピュラーな曲をリクエストされることが多いのですが、いい曲というのは、いい演奏をすれば、なじみがなくても聴いてもらえます。これから、自分が大切に思い、弾きたい曲を聴いてもらいたいと思います。

——木野さんは「パガニーニ(イタリヤの作曲家でヴァイオリン奏者)弾き」としても有名ですが、

木野さん パガニーニの曲は、

ヴァイオリン技術の可能性に対する挑戦が曲の端々に感じられ、ヴァイオリニストにとって大変魅力的です。僕もカプリス(奇想曲)を三曲録音する間に「ヴァイオリンは面白い」と再認識しました。

——チェンバロの曲は現代の作曲家も書いていますが、曽根さんは現代の曲も演奏されるのですか。

曽根さん じょじょに取り組んでいます。最近、フランク・マルタンの「ピアノとハーブとチェンバロのためのコンチェルト」を紀尾井ホール(東京・千代田区)で演奏しました。依頼されて初めて

取り組んでみる曲もありますが、バロックの様式とまったく違いますが、譜読みにすごく時間がかかります。演奏してみるととても面白いですね。

——チェンバロという楽器の特質についてお話し下さいませんか。

曽根さん 私自身、ピアノとチェンバロがそれほど違う楽器とは思っていませんでしたが、触った瞬間、まったく違う楽器とわかりました。ピアノは、弦をハンマーで打って音を出すので、簡単に強弱がつけられます。けれど、チェンバロは、弦をツメではじき音を

出しますので、鍵盤を触る指でその感触を確かめながら表現を探すという感じですね。先生に教えてもらってやってみるのですが、それだけでは音楽になりません。まねをして音楽にならないのです。いろいろな曲折を経て、「自分の音楽」として自然に表現できるような過程がとても面白いのです。

——木野さん、ヴァイオリンとチェンバロについてお話し下さい。

木野さん 僕の父は音楽家、母は女優で、音楽的土壌は幼いときからありました。僕が長男として

曲折楽しむ心が自己表現生む

弦楽器演奏の極意は右手に...

曾根
さん

木野
さん

生まれた時、両親が「ヴァイオリンを」と決めていたようで、四歳の誕生日にヴァイオリンをプレゼントされたのが、ヴァイオリニストになるきっかけといえそうです。

——ご両親がヴァイオリンと決めた理由はなぜでしょうか。木野さん 父の弦楽器に対する憧れが強かったようです。家にソ連のヴァイオリニストの巨匠、オドがたくさんあり、幼稚園児のころから毎日聴いていました。

——曾根さんが「チェンバロは音色の出し方がむずかしい」といわれましたが、ヴァイオリンはどの程度できますか、右手をマスターするのには大変です。右手の練習の大切さを教える先生も少ないのです。日本の先生が、右手を重視してこなかったのが、国際コンクールで日本人は「機械的な演奏をする」と指摘されるのです。「右手で音色をつくる、表現する」ということを小さい時から教えていたら、もっと違った演奏になるはずですよ。

——曾根さんはバリ、木野さんはロンドンで拠点にして活躍されていますが、曾根さんがバリを選ばれたきっかけは。曾根さん 一九八六年、ベルギーのコンクールに出たとき、チェンバロの音色の出し方がむずかしいといわれましたが、ヴァイオリンはどの程度できますか、右手をマスターするのには大変です。右手の練習の大切さを教える先生も少ないのです。日本の先生が、右手を重視してこなかったのが、国際コンクールで日本人は「機械的な演奏をする」と指摘されるのです。「右手で音色をつくる、表現する」ということを小さい時から教えていたら、もっと違った演奏になるはずですよ。



曾根 麻矢子 さん

そね・まよこ＝東京品川区生まれ。玉川学園小・中学部、桐朋学園大附属子供のための音楽教室出身。桐朋学園附属高校ピアノ科卒。86年、ブリュージュ国際チェンバロ・コンクール入賞。イスラエル室内オーケストラ専属のチェンバロ奏者を経て、91年、日本人初のフランス・エラート社専属アーティストとなり「バッハ：イギリス組曲」でCDデビュー。92年、フランス・イタリア・東京のソロ・デビューリサイタルで注目を集める。96年「出光音楽賞」、97年「飛騨古川音楽大賞奨励賞」受賞。現在、ヨーロッパや日本でソロ、コンチェルトなど多数の演奏会を開く。また、テレビ・ラジオに出演し、エッセイの執筆など多才ぶりを発揮。最新CDは「バッハ：ゴルトベルク変奏曲（全曲）」。

バッハの時代の
景観いまでも残る

伝わる音楽の精神

パリ、ロンドン

素晴らしい日本のホール 周辺に潤いを

ンバロ制作者のデビット・レイに出会って、パリで彼の楽器を所有している方の家に招いて下さった。初めてのパリでしたが、そのとき、不思議と「ここに住みたい」と思ったのです。

——木野さんはいかがですか。

木野さん 僕は桐朋学園三年の冬に高校代表として、イフラ・ニーマン先生のマスタークラス（音楽家養成クラス）を受ける機会がありました。そのとき先生から留学のお話が出て、その三カ月後にロンドンに行きました。先生は、僕が大学を卒業していると思いつ

んでいたのです。僕もクラスに同年齢の人がいないので不思議に思っていたのです。大卒の人しか入れないクラスだったのですよ（曾根さん、爆笑）。

——それで、どうなったのです。

木野さん 学長の特別措置というところで入学は許可されました。曾根さん 私は学校には縁がなかったですね。高校を卒業して留学したいと思っていたのですが、通奏低音（伴奏）の仕事が面白くなって。パリに行ったのは、エラート社（レコード会社）との契約があったのと、名チェンバリストのスコット・ロスが使っていた楽器が弾けるとのお話にひかれてです。フランスの学校へ入学申し込みをしたのですが、手違いで入学できませんでした。そのとき、この先生から「レッスンを来なさい」と言われて……。



——ところで、演奏家にとって

恩師との出会いが大きな意味を持つと思います。

曾根さん 私はチェンバロを高校二年の副科でとったのですが、ピアノの先生にも担任にも反対されました。でも、どうしても鍋島元子先生にチェンバロを習いたいという思いがあり、鍋島先生にじか談判しました。鍋島先生に師事したからこそチェンバロにのめり込んだという思いがあります。



木野さん わかるなあ。師弟の

関係は時間の長さではなく影響の大きさですよ。ロンドンには巨匠といわれる人がたくさんいて、僕が住んでいた近所にピアニストのブレンデルが住んでいたり、チケット売り場でルツジェーロ・リッチ（ヴァイオリニスト）やアシユケナージ（ピアニスト・指揮者）を見かけたこともあります。

——そうした日常的環境が貴重

なのでですね。

木野さん たまたま、ある巨匠に出会って「あなたの演奏が好きです。僕の演奏を聴いていただきたいのです。マスタークラスはありませんか」と話しかけ「じゃあ、今度いらつしやい」ということもありました。

——すごいですね。

木野さん その方が、僕の演奏を非常に気に入って下さり「今度、このコンクールに出たらいい」と助言され、ご自宅でレッスンが受けられるようになりました。先生のコンサートについて行き、ゲネプロ（本番直前の総げいこ）と本番までの間、僕に演奏をさせて下さり「こういう会場では、こう弾くといい」と指導されました。

曾根さん それは貴重な体験ですね（やや興奮気味に）。

河合由里子さん

杉口掛ま演現委
京え仕善も委
＝まやの音楽慈も委
ゆりこ「みやまの音楽慈も委」の音楽推進委員、委員
かわい・ゆりこ「みやまの音楽慈も委」の音楽推進委員、委員
並区生まれ。「みやまの音楽慈も委」の音楽推進委員、委員
ビーコンサート」の音楽推進委員、委員
人。演奏家として尽力も、音楽推進委員、委員
ち。つくりに障害者の支援も、音楽推進委員、委員
奏会、市文化行政推進委員、委員
在、市文化行政推進委員、委員
宮前区の音楽推進委員、委員
長、精神保健と福祉を考
る会副会長。同区野川在住。

木野さん ヨーロッパの先生方は、一生懸命に学ぶ人には、熱心にレッスンして下さり、質問にもていねいに答えて下さいます。

曽根さん 私も音楽家としては、フランスのほうが住みやすいと感じています。先生方の情熱あるレッスンもそうですが、それ以上に、外出して目に入ってくる景色が自分の弾いている音楽と同時代の建



司会の河合由里子さん

物とかで、演奏に邪魔なものが視界に入っていないのですよ。

木野さん わかります。日本人は新しいもの好きだからね。僕もロンドンにいるほうが、ホッとしますね。緑色の木々と茶色の屋根……。

曽根さん パリという環境の中で、フランス人のエスプリ(精神)が分かり、音楽についての見方や

感じ方が具体的になるのです。

演奏家にとって、まちが安らぎの場であり、曲を解釈するうえでの学びの場ということですね。私たちが、いつの時代にもいい演奏を楽しむことができるのは、長い時間の中で紡いできた音楽の魂を若手に引き継ぐことを惜しまない巨匠のおかげなのです。

曽根さん 本当にそうですね。——最近のホールについて、どうですか。

曽根さん チェンバロは、ピアノ以前の16〜18世紀が全盛の楽器で、当時の音楽会は宮廷の中の部屋とか教会でしていたのです。いまのホールで弾く楽器ではないので、ハンデイがあるのは事実です。けれど、最近演奏した豊田市(愛知県)のホールは響きもよく、パリでもこんな素晴らしいコンサートホールはないですね。

木野さん そうだね。日本は世界にないほどいいホールがそろっていますね。ロンドンでもサントリーホール(東京・港区)以上のホールはありません。

——ホールと楽器との相性もあるでしょうね。

木野さん ヴァイオリンは木で

出来ていますから、木の性質を利用したホールで、楽器と一体となつて響くのがいいのです。ヴァイオリニストは、自分の楽器を使いますから、行った先々のホールで工夫することが大事です。ゲネプの時はいい音を鳴らすのに、客席が埋まると音が鳴らなくなるホールもありますから。いいホールは、聴衆が入ったときに、いい響きがつくれるのです。

曽根さん チェンバロの演奏会場としては、客席が百人以下で石とか木でできている響きのいいホ



ールが理想です。

演奏者が、そのホールの性質をつかむことも大切ということですね。

木野さん 音楽を聴きに行く人たちにとっては、ホールだけでなく、そのまわりの雰囲気も音楽の一部になるような環境が理想です。

曽根さん 音楽を聴いた後の余韻(よいん)、大切ですからね。いい気分になつたまま家路につけるようなまちが……。

——ところで、演奏会の前は、どんなふうに通されるのですか。

木野さん ソロのときは、落ち着ける雰囲気の家屋であれば、静かに本を読んだりしていますね。テレビでプロ野球や大相撲をやっている時は、大好きなので必ず見ますし。

曽根さん チェンバロは、ツメが羽根で出来ている繊細な楽器なので、こまめに調律する必要があります。ふだんは自分でしていますが、演奏会当日は調律師にしてもらいます。でも、調律に立ち会いますし、細かな調整は自分でしますから、開場時間ぎりぎりになります。ですから、演奏前は、おにぎり一個とか、サンドウィッチ

をつまむ程度ですね。

木野さん 僕は、ほどほどに食べておかないと演奏中におなかか鳴るのです(すました表情で)。

——お二人とも、演奏旅行が多いと思いますが、音楽以外でいちばん楽しいこと、留意されていることがありますか。

曾根さん やはり、旅先でおいしい料理を食べ、おいしいワインを飲むことです。



木野さん 僕もそうです。「来週、あそこへ行ったら、あれを食べよう」という感じですよ。毎週、毎週、変化のある生活ですから、旅先の楽しみ方は自分で考えます。

曾根さん そうなんです。意識して楽しみを見つけないと、わけのわからないことになります。空港からコンサートホールに行くと、演奏終了後ホテルに向かい、翌朝、ホテルから空港...では、あ

まりにも味気ない生活になります。

木野さん 旅から旅の生活をしていると、曜日と土地の感覚がなくなる時があります。昨年、八年ぶりにニューヨークへ行ったのですが、レストランの席の隣に知り合いの日本人がいて「ここは日本?」と一時的に錯覚しました。

——それは昨年十一月、ニューヨークに世界のコンサートマスター(第一ヴァイオリンの首席奏者)と首席奏者(各楽器の)計百十人が集まり、ミレニアムスペシヤルオーケストラをつくったときのことですか。

木野さん そうです。ベートーヴェンの「第九」を演奏しましたが、僕はこの時初めてセカンドヴァイオリンを弾きました。振り分けがアルファベット順でしたので。

——コンサートマスターや首席奏者が集まれば、いいオーケストラになるのでしょうか。

木野さん オーケストラはチー



ムワークですから、いろいろな人がいたほうがいいのです。いいオーケストラの音というのは、塊で聞こえてくるのです。「一流のトウツテイ奏者」という言いかたをしますが、後ろで弾いているけれど、後ろが専門の奏者、たとえば、ホルンなら下吹き、全音というよいうな目立たないけれど、欠かせない役割があるのです。

——昔の大家族とか会社組織に似ていますね。目立たないが、その人が抜けるとガタガタになる。今後の抱負をお聞かせ下さい。

曾根さん 私は、活動拠点をパリから日本に移そうと思っています

新鮮な日本の聴衆の反応

オーケストラ その他大勢はいない

んです。この一、二年、日本でのコンサートが増えて、聴衆の反応がとても新鮮で面白いと感じているからです。逆に、フランス人がチェンバロにちょっと飽きて、好まれるのがオペラのような大掛かりなものになってきている感じがします。日本の方で、いままでチェンバロの演奏を聴いたことのない方にも、ぜひ聴いていただきたいし、私自身もレパートリーをもっと広げて、いろいろな表現をしてみたいと思っています。

木野さん 九月にサントリーホールでパガニーニを弾きます。また、パガニーニのカプリス全曲(二十四の奇想曲とカプリッツォ)をやっていないので、ぜひしたいと思っています。

題字は高橋清・川崎市長
構成/富樫 恭子
文責/田中 圀
カメラ/山本 綾子

「いまを話す」は、今回で終了いたします。ご愛読下さいましたみなさま、情報を寄せられた方々、ゲスト各位、インタビュアー、コーディネーターをされた方々に心より感謝いたします(田)。

第22期 「あそびの寺子屋」の参加者募集

—基本的な生活技術を身につけよう—

「あそびの寺子屋」は現代社会に生きる子どもたちに必要な「あそび」とおして、学校では学びにくい社会知識や生活技術、団体生活のルールなどを体験的に学ぶと共に、ものごとに対する正しい判断力と勇気ある行動力を養うことを目的としています。

■活動場所……おもに川崎市の青少年活動施設（青少年の家、八ヶ岳少年自然の家ほか）

■活動日……月1回、宿泊をしながら活動、日程は下の表をご覧ください

■費用……入会金1万円▼年会費6千円▼他に毎月食事代、宿泊代、材料費

■申し込み……4月10日(月)までに☎(366)4327の村越方・あそびの寺子屋事務局



手づくりおみこしで“ワッショイ”



応援団も夢中の餅つき

月 日	テーマ・内容	月 日	テーマ・内容
4月15日(土) 16日(日)	寺子屋開き～仲間づくりと約束	10月21日(土) 22日(日)	お月見キャンプ～名月を見ながら自然の変化を調べる
5月20日(土) 21日(日)	野外生活の体験Ⅰ～テントを張る、火・刃物の扱い方他	11月18日(土) 19日(日)	寺子屋のお祭り～模擬店とおみこしパレード
6月17日(土) 18日(日)	野外生活の体験Ⅱ～テントを張る、火起こし・炊事他	12月16日(土) 17日(日)	お正月のしたくはなんのため～餅つき、お飾りづくり
7月15日(土) 16日(日)	キャンプ～テント生活、ちょうちん行列、夜のお話し	1月20日(土) 21日(日)	むかしのあそびを体験してみよう～カルタとり、コマ他
8月4日(金) ～6日(日)	親子キャンプ～高原の夏を味わう、ハイキング、ファイヤー他	2月17日(土) 18日(日)	子どもは風の子～凧づくり、凧あげ、スケート
9月16日(土) 17日(日)	自然の中での生活を工夫してみよう～生活用具づくり、野営他	3月17日(土) 18日(日)	あそびの寺子屋の巣立ち～1年間の活動をふりかえる

主催／川崎市野外活動研究会 後援／川崎市教育委員会、生涯学習振興事業団

学習・文化情報

参加したい催しがある



催し



①わくわく実験教室Ⅱ
写真②ガリレオ工房く野菜
ロケットを飛ばそう◆東芝
科学館 ①は4月8日(土)10
時と13時半。無料。「燃や
して学ぼうエネルギー」を
テーマに実験。当日先着2
50人②は4月22日(土)10
時と13時半。野菜を燃料
にして飛ばすロケットや色
が変わるヤキソバを作る。
先着各50人。教材費3百

円。②のみ事前に☎(5
49) 22000の同館。川
崎駅からバス。

「シンポジウム」みんな
で元気にいきいきシアター時
代を創造しよう◆高津市民
館 4月5日(水)13時。一番
ヶ瀬康子・長崎純心大学教
授の基調講演とパネルディ
スカッション。パネリスト
は岡島重孝・井田病院長、
高齢問題相談員の菊川操子
さん他。無料。定員7百人。
围事前に☎(833) 78
88の遠藤さん。主催はい
きいきセミナー実行委員
会・在宅介護者の会。
①子ども映画劇場②映
画劇場③子どもサーカスシ
ョー◆川崎市民プラザ ①
は5月3日(祝)10時と14時。
「ライオンキングⅡ」を上
映②は5月6日(土)14時と
18時。「アルマゲドン」③は
5月7日(日)11時と14時。
「キマグレサーカス・パー
トⅡ」。いずれも無料。定員
は当日先着①②5百人③8
百人。☎☎(888) 31

市外局番のないものは044

学習・文化情報

31。
①星を見る夕べ②天体
撮影会◆青少年科学館 ①
は4月8日(土)と4月15日
(日)いずれも19時。8日はM
35・M44を観望。15日は月
齢11日の月と二重星カス
トルを。曇り、雨はプラネ
タリウム。当日直接②は5
月27日(土)12時から。太陽
黒点を撮影。小学5年以上
先着10人。持参品あり。い
ずれも無料。小学生以下は
要保護者。②のみ4月26
日(水)9時から☎(922) 4
731。
①親と子の地層探検教
室②植物教室◆青少年科学
館 ①は毎月第3日曜に地
層観察や化石採集、地学実
験を行う。初回は4月16
日(日)13時、オリエンテーシ
ョン。無料。先着40人。成
人の単独参加も可②は毎月
第4土曜10時から(7月の
み第2土曜)。生田緑地の
四季折々の植物を観察。室
内学習あり。対象は小学4
年以上、先着30人。無料。

①②とも4月4日(火)9時
から☎(922) 4731。
①観察会◆生田緑地 4
月2日(日)植物▽9日(日)野鳥
▽16日(日)昆虫▽23日(日)雑木
林▽30日(日)コケを観察。い
ずれも9時50分、青少年科
学館前に集合。無料。小雨
決行、野鳥のみ中止。当日
直接。☎☎(922) 47
31。
①サンデー子育てひろば
「パパといっしょ」◆多摩
市民館 4月16日(日)10時半
から。2歳以下の子供とそ
の親のフリースペース。地
域に子育て仲間をつくる。
無料。当日直接。☎☎(9
35) 3333。
②2000かわさき市民
「第九」コンサート①ソリ
ストオーディション②合唱
団員募集 ①は6月11日(日)
13時。会場は教育文化会館。
ソロパート各部門1人を。
市内在住・在勤・在学の人。
無料②はソプラノ・アルト
各70人、テノール・バス各
30人を募集。コンサートは

12月10日(日)15時半開演。
会場は教育文化会館。参加
費用は一般1万3千円、高
校生8千円、小・中学生5
千円。楽譜・練習用の力セ
ットテープは実費。①は
5月31日(水)までに、履歴書
(写真添付)と推薦書を持
参または郵送②は7月22
日(土)までに、はがきに住所、
氏名、身長、☎、歌うパー
ト、第九経験と発音練習希
望の有無を記して210-
0007川崎区駅前本町
12の1タワーパーク3
階、市文化財団同コンサ
ト係。☎(222) 882
1。
①麻生青年教室◆麻生市
民館 毎月1回、ハイキン
グや料理などを行う。対象
は同館まで一人で来られる
知的障害のある人。50人、
抽選。④4月18日(火)まで
はがきに住所、氏名、年齢、
☎を記して215-000
4麻生区万福寺1の5の2、
同館・青年教室係。☎(9
51) 1300。

学習・文化情報

たのしいスポーツがある

ステージ

「ボランティア募集①冒險クラブ②青年教室◆麻生市民館」①は月1回、小学4〜6年の子供を対象としたクラブの手伝い。高校生以上の人②は月1回、知的

「さつき寄席◆川崎市民プラザ」5月20日(土)18時開演。出演は林家木久蔵、三笑亭夢之助他。前売券千800円。4月1日(土)からプラザフロント他で発売。☎(888)3131。

「麻生フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会◆多摩市民館」4月9日(日)14時半開演。指揮は小田野宏之。曲目はラフマニノフ「交響曲第2番」、ガーシユイン「パリのアメリカ人」。千円。☎(955)1953の横須賀さん。

「花金曜寄席◆ギャラリ1靴」4月21日(金)19時開演。出演は林家錦平。前売券千300円。☎(812)6090。溝ノ口駅下車。「ランチタイムコンサー

障害のある青年を対象とした教室の企画・運営。☎(951)1300。
「あきる野座農村歌舞伎公演◆日本家園」5月3日(祝)13時半から。会場は船

トランスの太陽・フォルクローレ◆市役所第3庁舎ロビー」4月19日(水)12時15分開演。出演はロス・トレス・アミーゴス。曲目は「コンドルは飛んで行く」「花まつり」他。無料。☎(222)8821の市文化財団。

スポーツ

「エアロビクス教室◆生涯学習プラザ」5月9日〜7月11日の毎火曜10時半から、全10回。定員先着30人。受講料5千円。☎4月25日(火)9時から☎(733)5572の生涯学習振興事業団スポーツ事業室。

「教室①健康・体力改善②親子スポーツ③シルバースポーツ④3B体操◆市体育館」①は5月12日〜7月28日の毎金曜14時半、全

越の舞台。二百円(入園料別)。当日先着250人。12時半から会場で受け付け。☎(922)2181。
①「わたしたちの里を歩こう」千年・子母口コース②

12回。受講料4千円。15歳以上35人②は5月9日〜7月11日の毎火曜A9時半とB10時45分、各全10回。3千円。3・4歳児とその保護者各40組③は5月17日〜7月19日の毎水曜A13時半とB15時、各全10回。一回百二十円。対象は55歳以上。各40人④は5月19日〜7月21日の毎金曜14時、全10回。4千円。15歳以上40人。☎①4月28日(金)14時②5月2日(火)10時③5月10日(水)13時半④5月12日(金)14時に同館で抽選。☎(200)3255。

①少年スポーツ教室、体操・トランポリン②バドミントン(初級)③テニス入門◆幸スポーツセンター①は5月11日〜7月13日の毎木曜16時半、全10回。受講料600円。対象は

子育て交流集会のプランナー募集「プラザ橋」①は5月14日(日)9時半、橋出張所駐車場集合。小雨決行。無料。保険料は実費。先着25人。参加者には「ガイド

マップ」配布②は年間プランの作成とその運営をする人を募集。初回は5月19日(金)10時から。☎①は4月21日(金)②は4月18日(火)10時から☎(788)1531。

小学1〜3年30人②は5月10日〜7月12日の毎水曜10時、全10回。4千円。教材費千円。15歳以上40人③は5月13日〜7月15日の毎土曜10時、全10回。15歳以上30人。4千円。教材費千500円。☎①4月27日(水)16時②4月26日(火)10時③4月22日(土)10時に同館で抽選。☎(555)3011。

①バドミントン②全身シェイプアップ体操③親子スキンシップ体操④親子体づくり教室⑤リフレッシュ体操◆とどろきアリーナ①は5月11日〜7月13日の毎木曜10時、全10回。15歳以上40人。受講料4千円。教材費千円②は5月17日〜6月14日の毎水曜10時、全5回。15歳以上40人。2千円③は6月21日〜7月19日の毎水曜

10時、全5回。2歳児とその保護者25組。千500円④は5月30日〜7月18日の毎火曜10時、全8回。3・4歳児とその保護者30組。2千400円⑤は4月5日〜5月31日の毎水曜10時。一回300円。☎①は4月13日(水)10時②は4月19日(水)14時③は5月31日(水)14時④は5月2日(火)10時に同館で抽選。⑤当日直接。☎(798)5000。

①はじめての卓球②健康エアロビクス◆高津スポーツセンター①は4月25日〜6月27日の毎火曜14時、全10回。受講料4千円。教材費500円。15歳以上40人②は5月10日〜7月12日の毎水曜18時半、全10回。4千円。15歳以上40人。☎①は4月18日(火)14時②は4月26日(水)18時半に来館。抽選。☎(813)

①

学習・文化情報

探していた講座がある

6531。

「①初心者の楽しいバレ
ーボール②太極拳入門◆麻
生スポーツセンター」①は
5月11日～7月13日の毎
木曜13時半、全10回。受
講料4千円。35～55歳の男
女40人②は5月10日～7
月12日の毎水曜10時、全
10回。4千円。60歳以上
40人。③は4月27日(休
13時半)④は4月26日(休)
時に来館。抽選。☎(95
1)1234。

れも小学生以上。受講料は
いずれも子供1回50円、大
人100円。④各教室とも4月
9日(日)10時に同館で抽選。
☎(544)0493。

「①新卓球(ラージボー
ル)②ソフトエアロピック
③社交ダンス④卓球⑤優し
いヨーガ◆会館とどろき」
①は毎木曜10時から。月謝
3千200円②は毎月曜18
時半から。月謝4千200円
③は毎土曜10時から。月謝
4千200円④は毎月曜10
時と13時から。月謝3千2
00円⑤は毎火曜10時から。
月謝4千200円。いずれも
随時受付。☎(733)3333。

「女性硬式テニス教室①
初級②中級◆川崎市民プラ
ザ」5月8日～7月10日の
毎月曜、全10回。時間は①
10時から②は13時。定員
は①30人②20人。抽選。受
講料は各1万2千円。④4
月14日(金)必着で往復はが
きに住所、氏名、年齢、☎、
コース名を記して2131-
0014高津区新作1の
19の1、同講座係。☎(8
88)3131。

講座・講演

「POP広告講座②宅
地建物取引主任者資格受験
準備講座◆労働会館」①は
5月15日～6月29日の月・
木曜18時15分から、全14
回。受講料1万2千円、教
材費約3千円。先着25人②
は5月16日～9月29日の
火・金曜13時半から、全
30回。受講料3万円、教材
費約3千円。先着35人。④
①②とも4月23日(日)9時
から☎(222)4416。

「手話ボランティア入門
講習会◆中部身体障害者福
祉会館」5月26日～6月
30日の金曜10時から、全
6回。無料。教材費300円。
40人、抽選。④5月16日
(火)までに往復はがきに住所
氏名、☎を記して2111-
0068中原区小杉御殿町
2の114の1、同館。☎
(733)9675。

「初夏の創作教室①陶芸
②絵画③絵手紙④トールペ
イント◆青少年創作センタ
ー」①②は5月13日(土)と
14日～28日の毎日曜9時

半から、各全4回③は5月
18日～6月8日の毎木曜
9時半から、全4回④は5
月19日～6月9日の毎金
曜9時半から、全4回。対
象は①②小中学生。各30
人、抽選③④は成人。20
②千500円③3千200円④
5千円。④4月20日(休)まで
に往復はがきに教室名、住
所、氏名、学校名・学年、
性別、☎を記して2141-
0034多摩区三田2の3
303の1、同センター。
☎(911)1510。

「受講者募集①茶道(表
千家)②子ども絵画③子ど
も書道◆会館とどろき」各
教室の受講者を随時募集。
①は金曜17時半から。月謝
3千700円②は土曜14時か
ら。2千000円③は日曜10
時から。2千000円。☎(7
33)3333。

「講習会①シンビジウム
の育て方②春まき草花の育
て方◆緑化センター」①は
4月19日(火)13時半から。
教材費2千円②は5月10
日(火)13時半から。500円。
定員各30人、抽選。④は

4月5日(火)②は4月26日
(火)までに、往復はがきに住
所、氏名、☎、講習会名を
記して2141-0021多
摩区宿河原6の14の1、同
センター。☎(911)2
177。

「①食生活特別講座「賢
く食べてダイエット」②食
生活講座「バランスの良い
食生活」◆宮前老人福祉セ
ンター」①は5月15日(月)と
30日(火)・31日(水)(どちらか
選択)、6月26日(月)の9時
半から、全3回。対象は60
歳以上で血糖が高めの人。
減量したい人。先着34人。
講師は管理栄養士の田辺弘
子さん。教材費800円②は
5月10日(火)と19日(金)9時
20分から。講話と調理実習。
講師は管理栄養士の志賀美
知子さん。材料費500円。
先着各16人。④①は4月
18日(火)～27日(水)②は4月
17日(月)10時から、来館。☎
(877)9030。

「講習会①入門点字②手
話入門◆北部身体障害者福
祉会館」①は5月26日～6
月30日の毎金曜10時から、
全6回。教材費2千500円。

学習・文化情報

挑戦したい講座がある



「親子自然教室」家族で楽しむ黒川のアウトドア!

野菜と暮らす春夏秋冬◆黒川青少年野外活動センター
他「野菜の種まきから収穫まで体験する」写真。5月7日～来年3月の月1回日曜10時から、全12回。対

20人、抽選②は5月23日～6月27日の毎火曜18時半から、全6回。無料。45人、抽選。①②とも4月21日(金)～5月8日(月)までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、生年月日、☎、講習会名を記して2131-0001高津区溝口1の18の16、同館。☎(811)6631。

象は小中学生とその保護者。60人、抽選。参加費は一人2千円。講師は片平楽農倶楽部の三浦武雄さん他。④4月25日(火)必着で往復はがきに郵便番号、住所、参加者全員の氏名、性別、学年と年齢、☎を記して21510035麻生区黒川313の9、同センター。☎(666)2511。

「社交ダンス教室①初級②中級◆川崎市民プラザ」5月6日～7月15日の土曜①は10時55分から②は9時から、各全10回。受講料各1万2千円。男女各40人、先着順。④4月14日(金)から受講料を添えてプラザフロントへ。☎(888)3131。

「成人学校①ピースで手作りリ阿克セサリー②文学表現にみる川崎③今から考える遺産相続④木々のささやき⑤もっと!オーストラリア⑥若葉マークのバランス・アップ・メニユー◆教育文化会館」①は5月31日～6月28日の毎水曜10時から、全5回②は5月17日～7月19日の毎水曜10時か

ら、全10回③は5月19日～6月16日の毎金曜14時から、全5回④は5月13日～7月15日の毎土曜14時から、全10回⑤は5月9日～7月18日の火曜18時半から、全10回⑥は5月26日～7月21日の金曜18時半から、全8回。受講料は①③は2千円、他は4千円。教材費は①1回千6百円⑥5千円、他は実費。④⑤⑥は同日18時半に来館。④⑤⑥は同日18時半に来館。☎(233)6361。

「①家庭教育学級」今、「教育」する家族を問い直す②保育ボランティア研修◆多摩市民館」①は5月12日～7月14日の毎金曜10時から、全10回。20世紀

の「学校」の歩みをふりかえり、これからの家庭教育について考える。無料。先着30人。保育あり(1歳半以上、先着15人)②は5月9日～7月18日の火曜10時から、全8回。無料。先着10人。④①4月21日(金)②4月18日(火)10時から☎(665)3333。

「成人学校①20世紀の食の変遷②健美操③女性学の波紋④核の20世紀◆多摩市民館」①は5月17日～6月14日の毎水曜10時から、全5回②は6月13日～7月11日の毎火曜10時から、全5回③は6月3日～7月1日の隔週土曜13時から17時、全3回(初回は15時まで)④は6月11日～7月16日の毎日曜10時から、全6回。受講料は各2千円。教材費は実費。②は保育あり(1歳半以上10人)。3千円。定員25～35人、抽選。

「講演会」自分らしく生きる◆平こども文化センター」4月14日(金)10時から。講師は和光大学講師の小沢牧子さん。千円。保育あり。④は同日18時半に来館。☎(935)3333。

「神奈川ニューライフカレッジ公開講座」話しことば検定資格講座◆登戸ドレスメーカー学院」4月25日(火)10時半から。社会生活に

必要な「コミュニケーション」や面接・就職に役立つポイントを学ぶ。講師は澤田啓子さん。千円。④午前中に☎(911)2221。向ヶ丘遊園駅下車。

「①保育ボランティア養成講座②もうすぐパパ・ママセミナー◆プラザ橋」①は5月23日～7月4日の毎火曜10時から、全7回。無料。15人、抽選。保育あり(1歳半以上、10人)②は5月20日～6月24日の毎土曜10時から、全6回。初めて親になる男女20組、抽選。無料。①②とも5月6日(土)までに、はがきに住所、氏名、☎、①の保育希望者は子供の氏名、年齢、性別も②に応募する人は出産予定日を記して21310026高津区久末2012の1同プラザ、各講座係。☎(788)1531。

「社会人学級◆中原市民館」5月9日～来年2月27日の火・水・金曜18時半から。無料(教材費は実費)。対象は15歳以上。先着30人。内容は国語、数学、英語、特

学習・文化情報

みたい絵がある

別講座他。 ㊦4月19日(水)から㊦(722) 7171。

「和光大学オープンカレッジ2000」◆同大学はいでいあホール他」5月8日(月)から始まる61講座の受講者を募集。分野は、アジアの諸言語▽技術とくらし▽書く・話す・創る▽歴史と芸術文化を学ぶ▽社会と人間を考える。週1回90分、全6〜20回。受講料は9千〜3万円。 ㊦4月14日(金)までに所定の用紙に記入し提出。資料請求は㊦(988) 14333の同大・大学開放係。鶴川駅下車。

「平成12年度前期公開講座◆日本女子大学西生田生涯学習センター」4・5月開講の16講座の受講者を募集。源氏物語宇治十帖を読む▽マオペラを楽しむ▽ミンエイクスピアの世界▽生涯スポーツの手ほどき▽心の健康を考える▽末病医学の世界他。週1回90分〜120分、全3〜12回。受講料は3千〜1万円。テキスト・教材費は実費。詳細は㊦(945) 3323。読売ランド前駅下車。

「成人学校①現代中国の生活と文化②20世紀芸術の幕開け③センスUPトレニング④自分で作るウエディングドレス⑤EU経済入門◆麻生市民館」①は5月10日〜7月19日の水曜14時から、全10回②は6月9日〜7月7日の毎金曜14時から、全5回③は4月28日〜7月14日の金曜14時から、全10回④は5月6日〜7月8日の毎土曜14時から、全10回⑤は6月1日〜7月13日の木曜18時半から、全5回。受講料は②⑤が各2千円。他は各4千円④の教材費は2万円。定員は20〜40人、抽選。 ㊦①②③は4月21日(金)10時④⑤は同日18時半に来館。 ㊦(951) 1300。

「成人学校①奥の細道の世界②夏の家庭料理③アジア娯楽映画の魅力④沖縄の歴史と文化⑤みんなの手話⑥レッツヒップ・ホップ◆幸市民館」①は5月10日〜7月12日の水曜13時半から、全10回②は5月12日〜7月21日の金曜10時から、全5回③は5月20日〜7月22日の土曜10時から、全10回④は5月23日〜7月25日の火曜18時半、全10回⑤は6月2日〜7月14日の金曜18時半から、全5回。受講料は①④⑤が4千円②③⑥は2千円。教材費、保険料は実費。定員は24〜40人、抽選。 ㊦①②は4月21日(金)10時③④⑤は同日18時半に来館。 ㊦(541) 3910。

「成人学校①まるごとチベット②日本の原子力③日本の庭園を観る④打楽器あれやこれや⑤パントマイム◆高津市民館」①は5月10日〜7月19日の水曜10時から、全10回②は6月7日〜7月12日の水曜14時から、全5回③は4月27日〜6月8日の木曜10時から、全5回④は5月11日〜7月13日の木曜14時から、全10回⑤は5月19日〜6月23日の金曜18時半から、全5回。受講料は①④が4千円②③⑤は2千円。定員は30〜40人、抽選。 ㊦①④は4月18日(火)10時⑤は同日18時半に来館。 ㊦(814) 7603。

同日18時半に来館。 ㊦(814) 7603。

「乳幼児学級〜ふれあいからみつめよう、育ち合う心◆高津市民館」5月11日〜7月13日の毎木曜10時から、全12回。対象は4月1日現在で満2歳以上の子供とその親。25組、抽選。保育あり。無料。保険料は実費。 ㊦4月10日(月)必着で往復はがきに住所、親子の名前、㊦、子の生年月日を記し〒213-0001高津区溝口1-4の1、同館。 ㊦(814) 7603。

「市民ミュージアム」4月22日(土)〜6月11日(日)、「グラフィック・デザイン」のモダンニズム〜20世紀・機械時代のグラフィック革命」。1910年〜30年代

「市民ミュージアム」4月22日(土)〜6月11日(日)、「グラフィック・デザイン」のモダンニズム〜20世紀・機械時代のグラフィック革命」。1910年〜30年代

ギャラリー



「多摩川の里身体障害者福祉会」4月25日〜6月13日の毎火曜19時から、全8回。無料。テキスト代実費。40人、抽選。 ㊦4月11日(火)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、㊦、「手話」と記し〒214-0012多摩区中野島6の13の5、同館。 ㊦(935) 1359。

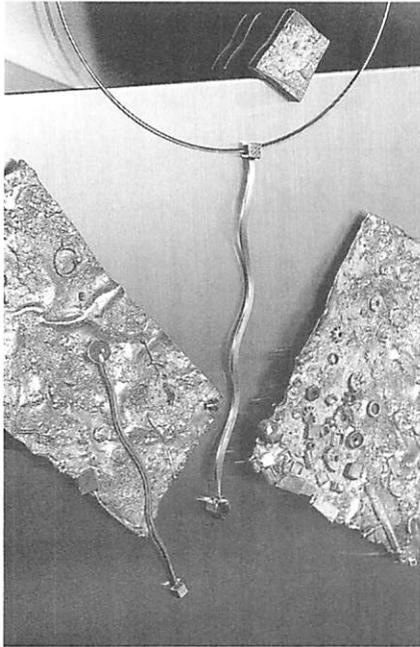
「市民ミュージアム」4月22日(土)〜6月11日(日)、「グラフィック・デザイン」のモダンニズム〜20世紀・機械時代のグラフィック革命」。1910年〜30年代



「ギャラリー幸」4月14日(金)〜19日(水)、「ギャラリー開設10周年展」。今までに出展した人たちの作品。木曜休廊。 ㊦(555) 8181。川崎駅西口下車。「スナック喫茶」4月

学習・文化情報

楽しくつどうグループがある



1日(土)～15日(土)、藤原・久保写真二人展(風景)▽4月15日(土)～29日(祝)、神妙子のアクリル油絵▽4月29日(祝)～5月27日(土)、小田切陽子・モラ(スペインの伝統手芸)の展示。☎(544)05007。鹿島田駅下車。

「多摩市民ギャラリー」4月14日(金)～19日(水)、しやらく麻生の第5回写真作品展覧会。テーマは「静・動」。月曜休館。☎(955)4193の木村美さん。

「アートホール新町」4月15日(土)まで、リバーカーレントの会の「絵画・写真・陶芸」▽4月1日(土)～15日(土)、柳井清澄の「写真」▽4

月16日(日)～5月15日(月)、川崎大師RC写真同好会の展示▽4月1日(土)～30日(日)、国画会友・井上泰助のクロッキー。☎(344)6444。川崎駅からバス。

「中村正義の美術館」4月23日(日)まで、「顔」展。一般500円、学生300円。月・火休館。☎(953)4936。読売ランド前駅からバス。

「画廊ランプ屋」4月14日(金)～23日(日)、「粉奈和子展」。彫金作家によるジュエリーⅡ写真Ⅱと鉄を使った造形作品を展示。他に常設展(版画・絵画・立体)。火曜休廊。☎(945)4416。稲田堤駅下車。

会員募集

●川崎混声合唱団(是枝恒明代表) 毎週水曜の18時半から、中原区の中原カトリック教会で練習しています。秋の第35回定期演奏会では、オーケストラとともにビバルディの「グロリア」他を公演します。入会金千円、月会費3千500円。連絡は☎(722)2101、FAX(722)4181の鈴木さん。

●エルシノア中原(小西美子代表) シェイクスピアを原書で読む会です。新たにビデオをとりいれ学びます。講師は翻訳家の関場理一さん。第4金曜の13時半からエポックなかはらで。月会費千円。対象は高校卒業程度の英語力のある人。連絡は☎(777)1611の同代表。

●コールなかはら(田中京子代表) 来年、創立30年記念演奏会を開く予定の女声合唱団です。指導は辻正行先生で、ただいま日本の曲を中心に練習。毎週水

曜10時から中原市民館他で。また隔週の13時からポイストレーニングもします。入会金千円。月会費7千円(ポイストレーニング代込み)。連絡は☎・FAX(411)8816の同代表。

●ふみの会(小寺紀代子代表) 森久保安美先生の指導で、日常に生かせる言葉や文章の勉強をしています。文学鑑賞・散歩なども楽しめます。第2火曜10時から、中原市民館他で。見学歓迎。月会費千円。連絡は☎・FAX(411)7122の同代表。

●男声コーラス・高津・メンネルコール(本間吉夫代表) 若者から定年退職した人まで和気あいあいと練習しています。指導は石倉満郎先生です。合唱祭やボランティア音楽会などへ参加しています。初心者歓迎。練習は毎週木曜日18時45分から、溝ノ口の高津・市民合唱団事務所。入会金千円、月会費2千円。連絡は☎・FAX(860)1787の鈴木さん。

生涯学習プラザ休館のお知らせ

生涯学習プラザでは耐震補強工事のため、7月下旬から半年間休館しますので貸館を中止いたします。平成13年2月以降の貸館の受け付けについては下記にお問い合わせください。

◆休館期間 平成12年7月24日(月)～平成13年1月31日(水)まで

◆問い合わせ ☎044(733)5560 生涯学習振興事業団 総務室

21世紀を担う子どもたちで

レッツ・スピーク・イングリッシュ

川崎市立南生田小学校（寺尾央校長・児童数九八四人）で、新年度から導入される「総合的な学習の時間」を先取りした英会話の公開授業が開かれた。同校では四年前、創立二十年を機に新たな学校経営に取り組み、今年度も、六年生の児童に隣接する南生田中学校（三奈木勲校長）で授業や部活動を一日体験させるなどの試みを行った。英会話の授業もこうした試みの一つで、異なった文化に触れることで多様なものの見方を育てようという狙いがあり、三年前から研究実践をくりかえしている。



南生田小で英会話の授業

授業が公開されたのは四年生と六年生の各二クラス。四年生の授業では、外国人の教育ボランティアが児童一人ひとりと向き合っており、あいさつしたり、英語でヒントを与え、果物や野菜が描かれたカードをカルタのように取り合うなどの内容。遊び感覚いっぱい授業に、子どもたちは笑顔だった。六年生の授業では、曜日や月の単語の発音練習や、基礎的な会話を学習した。

授業後の児童の感想文に「先生と一緒に英語をして、とても楽しかったです。いろいろな絵を答えたり、フルーツの名前を言ったり、グループでカルタ取りもしました」（四年女子）。

「こういう授業をすれば、英語もいっぱいおぼえられるし、外



みんなで作った教材

国の人もお話しができるのでとてもうれしかったです。先生が楽しいと勉強も楽しくなるからです」（同）とあり、英語への関心の高さがうかがえる。

同校の校区には、海外生活を経験した保護者も少なくない。会話を教えるのは、地域の人たちで、英語を母国語とする外国人や、海外生活の経験がある市民を教育ボランティアとして招いている。授業で使われたテキストも、保護者や地域の専門家の協力を得て完成した手作りで、この日お披露目となった。

「総合的な学習の時間」は、小学校では、2002年度から導入されるが同校では、新年度から本格的に実施する。寺尾校長は、「四年前の創立二十周年式典で、子どもの司会の中で英会話を取り入れました。日本語の学習だけでなく、もう一つこれからのコミュニケーション手段として英会話の導入を考えました。先生方の努力と多くの方々の協力でテキストが完成しました。子供たちの夢を大きく育みたい」と語った。

●発行

（財）川崎市生涯学習振興事業団 〒211-0064 川崎市中原区今井南町五一四の一 生涯学習プラザ内
電話 044(733)5560(代) FAX 044(739)0085